



蔵ギャラリーMoku蔵主

黒崎 裕人

KUROSAKI HIROHITO

1959年 柏崎市笠島出身  
2017年「海辺のキッチン倶楽部もく」オープン  
2018年「蔵ギャラリーMoku」オープン

柏崎市笠島、「蔵ギャラリーMoku」の蔵主、黒崎裕人さんのウエルカムボード展が市内の大光銀行柏崎支店で開催される。これは、妻の朝子さんが代表を務める「海辺のキッチン倶楽部もく」のために黒崎さんが描いてきた作品を展示するもの。ブラックボードには、もくのメニューやその時々にかけている社会の話題を女性店員と猫の会話で楽しく表現している。

黒崎さんは笠島出身。県の職員として長く勤務し昨年3月に定年退職を迎えた。新潟市から家族で笠島に戻ってきたのは20年前。子供も独立し現在は夫婦二人の生活だが、定年後を考えた時に夫婦でカフェを始めたいという目標を持った。物件探しに始まり、様々な苦労があったものの最終的には、かつて北国街道沿いで民宿を営んでいた、笠島の自宅前にある築110年の蔵を利用することに決めて改装。専門業者の力を借りながら自分たちで壁を塗るなどの補修も行い、ようやく「海辺のキッチン倶楽部もく」をオープン。さらに翌年には、「蔵ギャラリーMoku」をオープンした。

昨年からはギャラリーの蔵主として本

格的に活動を始めた黒崎さん。冬の間はカフェを手伝いながら流木彫刻や好きな絵を描くことを楽しみ、春からは「佐渡見平コスモス畑」の管理と草刈りが待っている。こちらは黒崎さん夫婦が休耕田を利用して6年前に整備したもので、秋には一面に咲くコスモスと青い海に浮かぶ佐渡が見える、笠島の観光スポットになっている。

さて、黒崎さんにはもう一つ取り組んでいる活動「北国街道の手をつなぐ会」がある。長野・新潟両県の郷土史愛好者が年1回集って総会を行い、その後の研修では専門家のガイドと共に昔の北国街道と宿場周辺を歩いてみるという。北国街道は、佐渡の金銀を船で荷揚げした出雲崎から江戸までを陸送する目的で江戸幕府が整備した道。黒崎さんは会の中地域委員を務め、過去には「米山三里と青海川」や「鉢崎(米山町)」、「椎谷」などそれぞれの研究者と共に研修会を担当してきた。

街道沿いの柏崎地域には、強風にあおられ吹き流しのように斜めに育ったヨロongoの木(榎)が今も残り、かつては風除けの榎並木も存在したという。街道沿いに生まれ育った盆栽好きの黒崎さんにとっては400年前の北国街道を想起させる大切な風景になっている。

そんな地元の歴史に詳しい黒崎さんがもくで行っているのが観光ガイド。笠島やその周辺地域の魅力を歴史も交えながら案内する。4月からは、もく特製弁当付きのガイドツアーも企画中。皆さん、ぜひお楽しみに。

#### お問い合わせ

#### 蔵ギャラリー Moku

「私の手作り雛展」開催中  
「海辺のキッチン倶楽部もくウエルカムボード展」  
3/1～31 大光銀行柏崎支店にて開催中

#### 海辺のキッチン倶楽部 もく

柏崎市笠島810-1  
TEL 0257-31-1023  
営業日 金・土・日  
午前10時～午後4時  
(※予約優先)

#### 笠島ガイド

月～木 (※予約にて受付)



蔵ギャラリー Moku「私の手作り雛展」